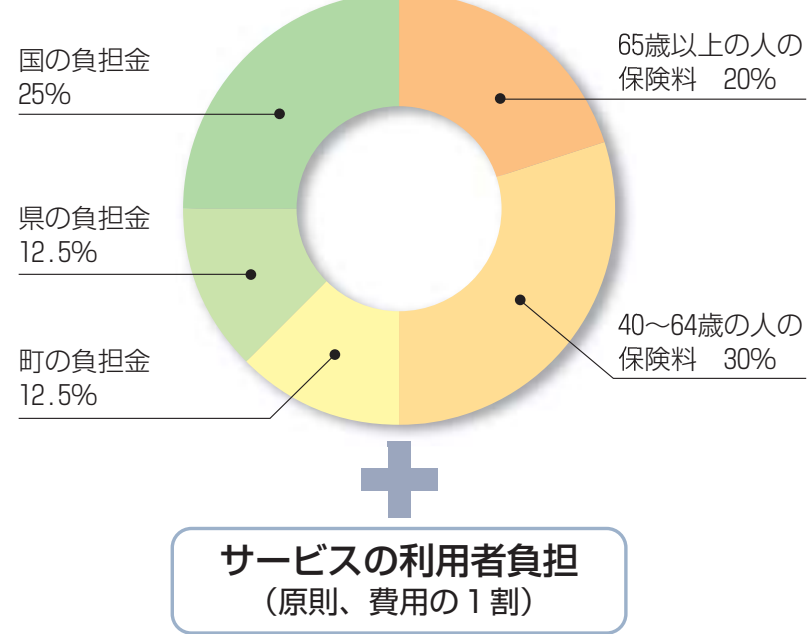


■ 介護保険の財源内訳

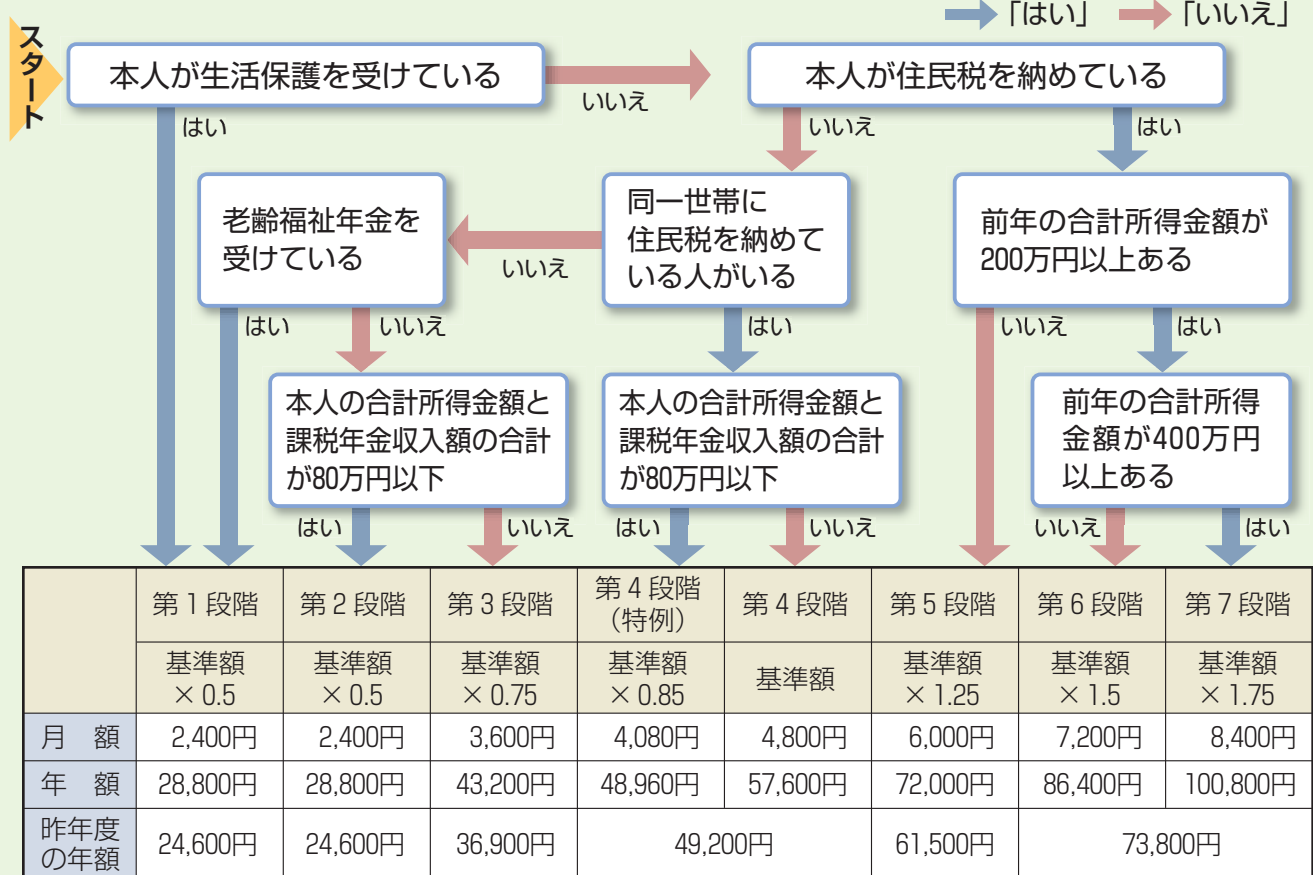


そこで、これまで6段階だった介護保険料額を8段階としました。介護保険料は1人ひとりに支払う義務があります。多くの保険料段階を設定することで、本人の収入状況に応じた保険料段階が適用されます。

保険料額は郵便でお知らせします

65歳以上の皆さんには、6月中旬に郵便で、平成21年度の介護保険料額をお知らせします。

あなたの介護保険料は？



※「課税年金収入額」とは、課税対象の年金(老齢基礎年金など)の収入のことで障害年金や遺族年金は含みません。
 ※「合計所得金額」とは、収入から所得に直した額の合計です。

介護保険サービスは、皆さんの保険料によって支えられています

介護保険 10年目の現状

介護の認定者数、サービス給付費が大幅増加

介護保険制度は、高齢者が安心して暮らせるように介護を社会全体で支えるもので、平成12年4月から始まりました。この制度は、40歳以上の人が納める保険料と公費を財源にして、介護サービス利用者が費用の一部(原則1割の額)を負担することで、サービスを利用できる仕組みになっています。そして、3年に1回、制度の見直しが行われます。介護保険料も同様に見直しが行われます。

この介護保険制度は今年で10年目を迎えますが、平成18年度には、高齢者の総合相談窓口として「地域包括支援センター」が開設されました。センターには多くの相談が寄せられるなど、介護についての関心、理解が深まっています。そして平成17年

度末で888人だった認定者数も、平成21年2月末時点で、1051人と、大きく増加しています。認定者が増加するということは、サービスの利用も増加します。そして保険給付

保険料の段階を8段階に

財源の2割は65歳以上の人の保険料で

認定者数、保険給付額は、

また介護保険制度自体の見直しも行われ、65歳以上の人の保険料「月額基準額」が4100円から4800円に変更になります。サービス利用の増加や介護従事者の報酬を引き上げることが

皆で支えあうことが、自分のためでもあるんだね

65歳以上の皆さんの介護保険料が変わります

問い合わせ 役場保険医療課 介護保険係 ☎(293) 3114



今後3年間も同様に増加すると見込まれています。介護保険の給付費の20%は必ず65歳以上の人の保険料でまかなわなければならないといけません。その結果、保険料が高くなります。

主な理由になります。介護サービス利用の増加、介護従事者処遇改善のための報酬改定など制度改正による給付費の増加は、介護保険料の上昇に影響します。

■ 認定者数の推移

18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度
906	945	1,028	1,091	1,146	1,193

※平成18年度から20年度は、9月末時点の認定者数。平成21年度以降は、各年9月末時点の推計認定者数。

■ 保険給付額の推移

18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度
13億6千万	14億7千万	15億9千万	17億9千万	18億8千万	19億3千万

※平成18~20年度は年間実績値。平成21年度以降は推計値。